

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	FB3	科 名	服飾専攻科 デザイン専攻	単 位	20 単位
科目コード		科目名	服装造形	授業期間	通年

担当教員(代表)：安島 直美	共同担当者：阿川 周子
----------------	-------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・ファッションデザインにおいて自由な創造力と発想力、そしてその表現テクニックを向上させ、それぞれが感性豊かな実力あるデザイナーとして活躍できるよう育成する。
- ・平面構成と立体構成を併用する理論と技術を習得し作品制作する。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

科目名	単位数	科目コード
服装造形 論Ⅲ	通年 3 単位	00230
服装造形 デザイン Ⅲ	通年 5 単位	00330
服装造形 パターンメイキング Ⅲ	通年 3 単位	00530
服装造形 ソーイング Ⅲ	通年 6 単位	00630
服装造形 ドレーピング Ⅱ	通年 3 単位	00820 (合計 20 単位)

1. カジュアルウエア 48 コマ デザイン・パターン・実物制作・レポート・新入生歓迎ショー
2. バザー作品 15 コマ カットソーブルオーバー
3. ヴィオネ演習 15 コマ 1/2 シーチング制作、1/2 各自デザイン制作
4. 皮革作品 52 コマ デザイン・パターン・実物制作・レポート
5. 特殊素材 44 コマ デザイン・パターン・実物制作・レポート
6. フォーマル素材 40 コマ デザイン・パターン・実物制作・レポート
7. モードコピー 24 コマ モードコピー型出し・パターンメイキング・実物制作
8. ドレーピング 33 コマ 三面構成ジャケット・ラグランスリーブコート・ドレープ

【評価方法】

- ・S～C・F評価
- ・服装造形論Ⅲ . . . 試験 100%
- ・デザインⅢ . . . 課題 80% 授業姿勢 10% 発表会 10%
- ・パターンメイキングⅢ・ソーイングⅢ . . . 課題 90%、授業姿勢 10%
- ・ドレーピング Ⅱ . . . 試験60%、課題30%、授業姿勢10%

主要教材図書 VIONNET 副読本 文化出版局、
文化ファッション大系服飾造形講座(スーツ・コート・ケープ、高級素材、特殊素材)
文化ファッション大系アパレル生産講座(立体裁断応用)

参考図書 GAP コレクション SHOW DETAILS WWD JAPAN

その他資料 なし

授業の特徴と担当教員紹介

作品制作を通してデザイン・パターンメイキング・ソーイングの技術向上を目指す。

担当教員 専任教授 障害者の為の衣服研究 NHKバリコレ参加協力

専任講師 日本ファッション教育振興協会 パターンメイキング技術検定 1 級取得

記載者氏名 阿川周子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	FB3	科 名	服飾専攻科デザイン専攻	単 位	1～2単位
科目コード		科目名	制作実習 g、h（自由選択）	授業期間	通 年

担当教員(代表)：安島直美	共同担当者：阿川周子
---------------	------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

レギュラー授業での課題以外に自由な作品制作を行う事で学生の自主性と創造性を伸ばす事を目指す

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

制作物は専攻科のレベルに相当するもの以上とし、担任の点検を受けた制作物に限り単位を付与する

制作物1体が1単位を基準とするが、作品の難易度も考慮し単位数を決める

単位付与の条件・レベルを統一するため、専攻科教員による採点会を実施する

【評価方法】

制作物の体数・難易度を考慮するため採点会を行う（P評価）

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	なし

授業の特徴と担当教員紹介

制作条件がなく自由にデザイン発想した作品を製作する事により、課題以外の経験・知識が得られる
コンテストの作品も課題と振替えでなく、単位を付与する事によりモチベーションの向上に繋がる

記載者氏名 阿川周子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	FB3	科 名	服飾専攻科 デザイン専攻 1組・2組	単 位	3単位
科目コード		科目名	ファッションデザイン画Ⅲ	授業期間	通年

担当教員(代表)：坂本真由美	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

これまでに習得したファッションデザイン画の表現力と技術を個々の進路に合わせて発展させる。
ファッションコンテストへの参加を通してクリエイションの視野を広げ、デザイナーとしての資質を育む。

【授業計画】 (全 42 コマ)

- 進路に向けたファッションデザイン画 (2コマ)**
今までに習得したデザイン画の技術を、進路に合わせた方向性へ繋げる
- YKKファスニングアワード応募 (2コマ)**
ファッションコンテストに応募し、クリエイションの視野を広げる
- ミューズ (アクティブウェア・下着のデザイン) (4コマ)**
自身の進路・クリエイションに理想的なミューズとなるような基本のボディを作成する
- ひだ (プリーツ、フレア、ギャザー) の表現とファッションデザイン (4コマ)**
布が作り出すひだの構造と表現方法を理解し、ファッションデザインに取り入れる
- 皮革作品のデザイン展開 (4コマ)**
服飾造形で製作する皮革作品を描き、デザイン展開を行う
- マイコレクション① (3コマ)**
テーマに沿ってデザインを発想し、進路に向けて活用できるデザイン画を作成する
- 夏期休暇中課題**
コンテスト画
- コンクール画 (2コマ)**
ファッション画のコンクールに応募し、ファッションイラストとしての表現力を高める
- アウターアイテムのデザイン展開 (4コマ)**
アウターアイテムの着装、素材表現について学び、デザインを展開する
- マイコレクション② (3コマ)**
テーマに沿ってデザインを発想し、進路に向けて活用できるデザイン画を作成する
- マイコレクション⑤フォーマルウェアのデザイン展開 (5コマ)**
服飾造形で製作するフォーマルウェアを描き、デザイン展開を行う
- 修了制作 (8コマ)**
校内のファッション画展応募規定に基づき、これまで習得した技術や表現力をB3パネルにまとめる
- 1年間のまとめ (1コマ)**
学年末試験 (実技試験) の説明

【評価方法】

S～C・F評価／評価基準：学業評価80%、授業姿勢20%

※学業評価=各期末試験の得点、平常成績(授業内での応答、課題作品・実技の評価)など 授業姿勢=出欠状況、授業課題提出状況など

主要教材図書	主要教材図書
参考図書	
その他資料	

授業の特徴と担当教員紹介

個々の進路に向けて、ファッションデザイン画を発展させる授業構成。文化服装学院専任講師が担当。

記載者氏名 坂本真由美

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	FB3	科 名	服飾専攻科デザイン専攻	単 位	1単位
科目コード		科目名	ファッションマーケティング	授業期間	(前期)

担当教員(代表)： 澤住 倫子	共同担当者：
-----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッションマーケティング、マーチャンダイジングへの理解を深める。
ブランド開発をもとに戦略立案から商品企画、プレゼンテーションまで行う事でその知識を身につける。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

I. ファッションマーケティング入門 (1 コマ) . . . 講義

- ①オリエンテーション ファッションと衣服の関係とデザイナーとファッションビジネス

II. 情報活動について (1 コマ) . . . 講義

- ①情報活動の位置付けと重要性について 情報の種類と活用について

III. ファッション企業研究 (5 コマ) . . . 講義・演習

- ①ファッション企業の今後を考える
- ②店舗調査を行い現状を把握する
- ③SWOT 分析を行い差別化のための戦略を考える

IV. 新ブランド開発 (7 コマ) . . . 講義・演習

- ①ブランド戦略と意思決定について
- ②ブランド設定の方法
 - ・コンセプト設定・アイテム計画・デザインマネージメント
- ③市場細分化とターゲット分析
 - ・企業運営における市場細分化の意味
 - ・ライフスタイル分析の手法とプロフィール化
- ④プレゼンテーション
 - ・プレゼンテーションの方法について

【評価方法】

提出物 60% 出席状況 40%

主要教材図書

参考図書 服飾図鑑・ファッション情報誌・各種業界新聞など

その他資料 図書館・リソースセンター作品、映像など

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名 澤住倫子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11813	科 名 服飾専攻科 デザイン専攻	単 位	1
科目コード 301100	科目名 アクセサリーⅡ（自由選択）	授業期間	前期

担当教員（代表）：中川 清美	共同担当者：
----------------	--------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>アクセサリーは服を引き立たせるための小道具である。新しい素材を取り込み服とのコーディネートを意識したオリジナリティの高いアートアクセサリー制作、そして服作りのヒントにと意識している。</p>
--

<p>授業概要＝テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p> <ol style="list-style-type: none"> アートアクセサリー鑑賞レクチャー 参考作品の素材説明とアイディア提案 樹脂の扱い方 アメリカンフラワーの扱い方説明 アートアクセサリー制作実習 アクリル絵の具、助剤について 塗料を使って金属の腐食した感じを出す方法の説明・中川作品鑑賞 アートアクセサリー制作実習 アンティークボタン ブレードの鑑賞を通して19世紀モードについて アートアクセサリー製作実習 アールヌーボ・デコのジャンクアクセサリー鑑賞を通して 20世紀モードについて アートアクセサリー製作実習 仕上げ シルバー粘土について、特性・扱い方の説明 制作実習 シルバー粘土リング制作実習 作品について仕上げ・説明
--

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>作品提出 70%・授業態度 20%・出席 10%</p>

主要教材図書
参考図書
その他資料

<p>授業の特徴と担当講師の紹介</p> <p>フリーイラストレーター、コスチュームアクセサリー作家として幅広く活動しつつ、文化服装学院にてアートアクセサリー／イラストレーションの講師をつとめる。</p> <p>世界各国のアクセサリー資料の紹介、いろいろなアクセサリー素材、道具類の説明を含め、デザインの幅を広げ、ファッションとコーディネート提案ができるような授業内容</p>
--

記載者書名欄 中川 清美

文化服装学院教務部

担当教員(代表)：中村 浩	共同担当者：
---------------	--------

グラフィック系ソフトの操作技術をレベルアップさせ、アパレルデザインや各種プロモーションツールの制作等、実戦に活かせるスキルを身につける。

[illegible]

S～C・F評価 出席・提出物70% 授業姿勢30%

その他資料 なし

中村 浩 / 武蔵野美術大学卒 百貨店販促宣伝部を経て、グラフィックデザイン、WEB デザインを中心に活動

記載者氏名 中村 浩

2024 年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード FB3 FD3	科名服飾専攻科 デザイン専攻・オートクチュール専攻	単 位	1 単位
科目コード	攻	授業期間	前期
科目名 アパレル染色演習Ⅰ（自由選択）			

担当教員（代表）：眞田玲子	共同担当者：
---------------	--------

概要アパレルデザインを行う上 重要である素材の染色加工に関する専門知識を養う。 理論・技法・工程など実技を通し習得する。 時代に沿った 各種表現方法を分析し構成する。
--

コマ	内 容
1	ガイダンス 授業内容 課題説明
2	講義課題Ⅰ 原毛染色 染色の基礎知識 酸性染料の浸染方法について理解させる
3	ウールの原毛フェルトによる 立体小物制作
4	〃
5	課題Ⅱ 絞り染め 講義絞りによる防染の仕組みと可能な表現について解説する
6	〃
7	実習縫い絞り、糸でくる絞り技法を使いエコバックを染色する
8	〃
9	講義 課題Ⅱ 型紙捺染 孔版プリントの仕組みを説明しデザイン化の意味を説明する 実習各自オリジナルロゴマーク、マスコット イラストなど図案をデザインする
10	〃
11	型紙作り 捺染 刷り込み実習
12	〃
13	まとめ
14	制作物考察とプレゼンテーション

評価方法・・・ ① 試験0% ②課題提出70%③授業姿勢10%④出欠席20%⑤その他0%による総合評価
--

主要教材図書 アパレル染色論（文化服装学院教科書）
参考図書 なし
その他資料 各種技法の作業工程 レシピ配布

授業の特徴と担当教員紹介 眞田玲子 企業におけるテキスタイルデザイナーの経験をもとに繊維素材の実用性、アパレルデザインにおける必要な図案や素材との調和など染色加工の企画制作を指導。

記載者氏名 眞田玲子

科コード FB3	科 名 服飾専攻科デザイン専攻 1 組、2 組（自由選択）	単 位	1
科目コード	科目名 アパレルCAD	授業期間	前期

担当教員（代表）：上野 和博	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など

アパレル産業における設計プロセスを認識し、アパレルCADを利用した実務の考え方・方法を深めることを目標とする。入力作業に始まり、パターン展開、プランニング、マーキングと流れを確認する。基礎的部分の履修ではあるが、最小限の機能を活用し、最大の効果が得られるレベル設定とする。

<授業概要>

- I. ガイダンス（1 コマ）
 - ① フローチャート説明（デモ）
- II. CAD基本操作（4 コマ）
 - ① 原型（直線作成、曲線作成）
 - ② 原型操作
- III. 工業用パターン作成（3 コマ）
 - ① 前身頃⇒前見返し作成
 - ② 裏衿⇒表衿作成
 - ③ パーツ化⇒縫い代つけ
 - ④ パーツ情報
- IV. マーキング（1 コマ）
- V. パターン入力（2 コマ）
 - ① パターントレース
 - ② パターン修正
- VI. グレーディング（2 コマ）
 - ① PMでのグレーディング
 - ② GRでのグレーディング
- VII. CADデータ利用（1 コマ）
 - ① 2DCAD⇒3DCAD
- VIII. 実技試験対策（2 コマ）

「使用ソフト」 東レ ACS 株式会社 クレアコンボⅡ使用

評価方法・対象・比重

実技試験（80%）＋ 平常点（出欠席＋ ファイル）（20%）

主要教材図書

参考図書

その他資料：配布プリント（私製）

記載者書名欄 上野 和博

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード FB3、FD3	科 名 服飾専攻科 デザイン専攻、オートクチュール専攻	単 位	1 単位
科目コード	科目名 帽子Ⅱ	授業期間	前期 (8 週)

担当教員 (代表) : 窪田 恵美子	共同担当者 :
--------------------	---------

概要 (教育目標・レベル設定)

- ・ 帽子の一般知識を習得する。夏物帽体・冬物帽体の 2 作品を製作する。
- ・ 専門素材・専門用具を用いての製作実習を通して、素材に適したデザイン・技法、帽子の基礎知識を学ぶ。
- ・ スタイリングの際の帽子の効果、被り方を学ぶ。

I 講義 帽子の基礎知識 [2 コマ]

- ・ 帽子の形の用語、種類、素材、木型、用具など専門知識の説明
- ・ スタイリングの際の帽子の効果、被り方等の説明

II 実物製作 2 作品

(1) 夏物帽体作品の製作 講義・演習 [6 コマ]

- ・ 夏物帽体による実物製作
- ・ 木型など専門用具の使用法、型入れによる帽体の形づくりを指導
- ・ トリミング (装飾) 及び仕上げについて指導

(2) 冬物帽体 (フェルト帽体) の製作 講義・演習 [6 コマ]

- ・ 帽子用のフェルト帽体 (ファーフェルト) による実物製作
- ・ 木型など専門用具の使用法、型入れによる形づくりを指導
- ・ スチームボイラーを用いて、蒸気によるデザイン別成形方法を指導
- ・ トリミング (装飾) 及び仕上げについて指導

各帽子の取り扱い、手入れ方法、保管方法等の説明

帽子のスタイリング考察課題

評価方法・対象・比重

S～C・F 評価、 評価基準 : 作品・提出物 80%、授業姿勢 20%

主要教材図書

文化ファッション体系 ファッション工芸講座 1 帽子 基礎編

参考図書 The HAT magazine 等

その他資料 コスチューム資料室標本

記載者氏名 窪田 恵美子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	FB3	科 名	服飾専攻科	単 位	1 単位
科目コード	400600	科目名	西洋服装史特論（自由選択）	授業期間	半期（後期）

担当教員（代表）：朝日 真	共同担当者：
---------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

西洋服装史を修得済の学生を対象として、ファッションへの理解を一層深めていく。2000 年代以降のファッション史の理解から男性服を中心とした機能服の変遷。そして時代の音楽やアートとファッションの関係性の理解を深める。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	1995年以降のファッションの動向	16	
2	2000年代のファッション	17	
3	機能服①ミリタリーウエア	18	
4	ミリタリーウエアの歴史②	19	
5	ミリタリーコートの歴史	20	
6	フライトジャケットの歴史	21	
7	シャツ、アンダーウエアの歴史	22	
8	テーラードスーツの歴史	23	
9	ワークウエアの歴史	24	
10	アウトドアウエアの歴史	25	
11	音楽とファッションの関係①	26	
12	音楽とファッションの関係②	27	
13	アートとファッション①	28	
14	アートとファッション②	29	
15		30	

評価方法・対象・比重

レポート提出（30%）、学年末定期試験（30%）、出欠と授業態度（40%）

主要教材図書

授業ごとにプリント配布

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

学生がデザイン発想するために役立つ授業展開を心がけている。

記載者氏名 朝日 真

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード VFB3	科 名 服飾専攻科 デザイン専攻	単 位	1 単位
科目コード	科目名 アパレル染色演習Ⅱ（自由選択）	授業期間	半期（後期）

担当教員（代表）：菅野めぐみ

共同担当者：増田 美砂希

【授業概要、到達目標・レベル設定】

染色、加工の応用的な実習を通して新たな素材の可能性を探り、発想力を高める。
それを各自が研究および創作するアパレル作品の企画、制作力の強化に結びつける。

【授業計画】

テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- ガイダンス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（0.5 コマ）（講義）
・ 授業内容について
- 酸性染料の三原色混色によるカラートライアングル表の作成・・・・・・・・（1.5 コマ）（実習）
・ 酸性染料の特徴
・ 酸性染料の浸染法
・ 三原色の配合比率で作成できる色
- 天然染料による染色・・・・・・・・・・・・・・・・・・（2 コマ）（講義・実習）
・ 天然染料の種類と特徴
・ 天然染料の色素抽出法、浸染法、媒染法
- 試し染め・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（2 コマ）（講義・実習）
・ 計画した色に近づけるための染料混色実習
- 実物染色・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（2 コマ）（講義・実習）
・ 試し染めで得たデータに基づく本番用の布（製品含む）の染色
- 簡易スクリーンプリント 顔料樹脂染料プリント及び特殊プリント加工・・（6 コマ）（講義・実習）
・ スクリーンプリントの仕組み
・ 量産プリントの版式と生産工程
・ 顔料糊の印捺と仕上げ方法
・ 顔料プリントと特殊プリント加工との比較
・ プリントによる抜染の仕組み

【評価方法】

S～C・F評価（学業評価70% 授業姿勢30%）

主要教材図書 文化ファッション大系 服飾関連専門講座④アパレル染色論 文化服装学院編 文化出版局

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

アパレル染色演習Ⅰで学んだ基礎的な染色法をもとに、応用的な浸染法（無地染め）・捺染法（模様染め）を実習する授業です。文化服装学院 専任講師/菅野めぐみ 専任助手/増田 美砂希

記載者氏名 菅野めぐみ

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	FB3	科 名	デザイン専攻科3年	単 位	1 単位
科目コード		科目名	テキスタイルデザイン	授業期間	前期

担当教員(代表)：飯塚 有葉	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】 1. デジタルテキスタイルプリンターを利用したテキスタイルプリントの工程・特徴を理解する。 2. Photoshop を利用してプリント柄を作成できる技術を身につける。
--

【授業計画】 1. デジタルプリントの概要：講義 2コマ ①デジタルプリントの特徴 ②機械の種類 ③シルクスクリーンとの違い 2. 背景画像の作成と連続方法：講義・実習 4コマ ①背景の作成方法 ②背景の四方送り 3. 連続柄の作成：講義・実習 6コマ ①画像のスキャニング ②画像の切り抜き ③画像合成・送りつけ ④プリント 4. プレゼンテーション：講義・実習 1コマ ①コンセプトシートの作成 ②発表・講評

【評価方法】 学業評価 60%、授業姿勢 40%

主要教材図書
参考図書
その他資料 Adobe Photoshop CC2024/Adobe Illustrator CC2024

授業の特徴と担当教員紹介 講義と実習を交互に行い、実際にPCを操作しながらテキスタイルデザインをしていく授業です。担当教員は、デジタルプリント・テキスタイルデザインを専門として、プリント以外にも手紡ぎ・手織りの技法について研究しています。
--

記載者氏名 飯塚 有葉

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 デザイン専攻	単 位	単位
科目コード	科目名 デザインディベロップメント	授業期間	前期 ()

担当教員(代表)：加瀬浩嗣	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

基礎造形力の育成と発展を主眼に授業を進行し、各自の服飾デザイン制作への反映と活用を目標とする。導入部にはグラフィックデザインを課題とし、発想力、表現力、そして構成力と、平面から立体への展開を通して学習していく。服飾に関連するの造形を中心に観察力・発想力・表現力・造形力の総合的な養成を目標に授業を進行してゆく。

【授業計画】

- [1] 創作、デザインの発想、考え方について
- [2] 平面図形の単純化・抽象化・簡略化・・・マーク、シンボル、アイコン、サイン、ロゴ、ピクトグラムを考える
- [3] 平面の構成と、色や形のバランスを考える・・・コラージュの技法：平面構成の色と形の世界観を作品制作
- [4] 分析法・立体物・・・単純な形を立体化および線状の形を増殖していく
- [5] 文字からのデザイン発想・・・文章や色々な形からインスピレーションして制作する。
- [6] 平面の構成と、色や形のバランスを考える・・・観察力・発想力・表現力・造形力の育成と、
独創性・キャラクター性の立体的な表現を追求する。
また、主材料の一つに布(綿布)を使用する事で、布の特性・可能性を探る。
- [7] パーソナルロゴ・・・各自が起業するデザイナーとなり、方向性を調査し、会社の顔となるロゴをデザインをする

方法：作品制作のための実習(参考作品・資料映像を、プロジェクターを用いて表示した講義・解説を含む)

また、課題の終了時には、講評会を行う予定。

【評価方法】

課題制作物(平面作品、立体造形)の評価、出席率を加味して総合的に評価する。

主要教材図書

参考図書

その他資料 創作の考え方、参考関連作品等の資料映像をプロジェクターにて鑑賞させる。

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名 加瀬浩嗣

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード FB3	科 名 服飾専攻科 デザイン専攻	単 位	1 単位
科目コード	科目名 コラボレーションC	授業期間	通年

担当教員(代表) : 安島 直美	共同担当者 阿川 周子
------------------	-------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

コラボレーションを通して、企業との連携を深め、社会貢献することを学ぶ。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

年度の実施内容による

【評価方法】

履修認定・・・P評価

評価基準 : 学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 なし

授業の特徴と担当教員紹介
年度の実施内容による

記載者氏名 阿川周子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード [*]	FB3	科 名	服飾専攻科 デザイン専攻	単 位	2単位
科目コード [*]		科目名	特別講義Ⅲ	授業期間	通年

担当教員(代表)：安島 直美

共同担当者：阿川 周子

【授業概要、到達目標・レベル設定】

デザイナーの現場、プロから見た仕事に対する心構え・内容・流れなど現場での実務を聞き、学生の方向性・意識の向上をはかる。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. キャリア開発	就職対策講座	(90分×1)	森 薫子 氏
2. ニットの知識	カット・ソーの縫製(量産機器使用)	(90分×3)	田才 由美子 氏
3. 皮革について	トレンド・皮革の種類・産地について	(90分×2)	藤田 晃成 氏
4. SDGsと企業の取り組み		(90分×1)	久保田寛氏
5. 流行色解説	2024 S/S 2024・2025 A/W	(90分×2)	中村 芳道 氏
6. イッセイミヤケのものづくり	デザイン発想におけるテーマ	(90分×1)	宮前 義之 氏
7. ユニフォームの基礎知識	企業ユニフォームのマーケットと商品解説	(90分×1)	山田 恭子氏
8. 日本の産地と現状		(90分×1)	蘇泳宜 氏
9. スティリスト、モデルリストの仕事		(90分×1)	日爪ノブキ氏
10. ドレーピングテクニック	デザイン画選択からのデモンストレーション	(90分×2)	樋口 吉徳 氏
11. 毛皮の一般知識	毛皮の現状と技術解説	(90分×2)	梨本 チエ子 氏
12. シャツの一般知識	オーダーシャツの技術解説	(90分×2)	山神 正則 氏
13. ファッションデザイナーの仕事		(90分×1)	根本 貴史氏
14. メンズパンツについて	メンズパンツの作図と補正	(90分×1)	杉本 浩一 氏
15. グッズの基礎知識		(90分×1)	菊池 明子氏
16. 3D CAD	3D CADの技術	(90分×1)	宮澤 国博 氏
17. ファッション情報	トレンド解説・パリ・ミラノ・東京	(90分×2)	青木 規子 氏
18. ポートフォリオについて		(90分×1)	丹治 基弘 氏
19. レースの基礎知識		(90分×1)	澤村 佳樹氏
20. 衣裳について		(90分×1)	オサレカンパニー

【評価方法】

履修認定 P評価 評価基準：学業姿勢・出席状況を基に、履修認定の是非を決定する

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 なし

授業の特徴と担当教員紹介

ファッション業界で活躍する方々より、アパレル企業の現場で働く現状などの講義を受ける授業を実施。
ファッションデザイナー・オーダーメイドシャツ職人・モデルリストなどその分野のスペシャリスト。

記載者氏名 阿川周子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	FB3	科 名	服飾専攻科デザイン専攻	単 位	1単位
科目コード		科目名	インターンシップb(自由選択)	授業期間	通 年

担当教員(代表): 安島直美	共同担当者: 阿川周子
----------------	-------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

将来のキャリアを視野に入れ、業界・業態・職業自体の理解を深めることを目指す

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

同一の実習先で実働 35 時間実習することを原則として、条件を満たした場合に単位を付与する

- ① 実習先は学生が自己開拓した企業とする
- ② 希望者は所定の手続きに従い、実施日の 14 日前までに担任に申請書を提出する
- ③ 授業時間中の実習は認めない
- ④ 賃金が支払われる場合は対象外とする(交通費実費あるいは少額の食事補助は除く)
- ⑤ 実習修了後、実習学生は 14 日以内にインターンシップレポートを提出する

※本人→実習先→本人→就職支援室→担任

【評価方法】

研修日時・内容・研修先のサインが記入されたインターンレポートを提出する(P評価)

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	なし

授業の特徴と担当教員紹介

インターンシップを経験する事で仕事の流れや実務を理解し就職活動に対する意識向上と自主性を育む

記載者氏名	阿川周子
-------	------

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード FB3	科 名 服飾専攻科 デザイン専攻	単 位	5 単位
科目コード	科目名 専攻科卒業研究・創作	授業期間	後期

担当教員(代表)：安島 直美	共同担当者：阿川 周子
----------------	-------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

全ての教科目の集大成として各自の知識・感覚・技術を集結させ、オリジナリティーに富む作品作りを目指す。
合わせて、卒業制作ショーを行いさらに今後のデザイン活動へ向けてデザインソースの蓄積をはかる。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- ・ 各自のコンセプトによりデザイン発想し、制作する。
- ・ アイテム、素材、自由
- ・ 作品の完成度を上げるテクニックで縫製する。
- ・ 卒業制作ショーの舞台効果を考えたコーディネートをする。
- ・ 卒業制作ショーの企画、演出を行う。

【評価方法】

・ S～C・F評価 評価基準：課題80%、授業姿勢10%、レポート10%

主要教材図書 なし

参考図書 GAP コレクション SHOW DETAILS WWD JAPAN

その他資料 なし

授業の特徴と担当教員紹介

3年間の集大成としてファッションショーを意識した上で作品を制作し発表する。

担当教員 専任教授 障害者の為の衣服研究 NHKバリコレ参加協力

専任講師 日本ファッション教育振興協会 パターンメイキング技術検定1級取得

記載者氏名 阿川周子